

欧州における動脈スティッフネス計測標準化のための国際ミーティング

— 大学病院とプライベートクリニックにおける動脈硬化 follow —

山家智之*¹ 劉 紅煎*¹ 金野 敏*¹ 白石泰之*¹ 宋 虎振*¹ 羅 雲*¹ 山口 濟*²
片平美明*² 柴田宗一*³ 大沢 上*³ 杉田典大*⁴ 吉澤 誠*⁴ 早瀬敏行*⁵
上月正博*⁶ 宗像正徳*⁷ 張 秀敏*⁸ I. A. Milyagina*⁹ J. Zaloudic*¹⁰ B. Fiser*¹¹
J. Siegelova*¹¹ P. Dobsak*¹²

緒 言

2008年6月、ベルリンの国際会議センターで、欧州高血圧学会(ESH)と国際高血圧学会(ISH)が共同で開催されたのを機会に、参加の研究者の一部が、欧州の中心に位置するチェコ共和国に場所を移して欧州における動脈スティッフネス計測の国際標準化に関する会議が行われた。

ベルリンの高血圧学会は、ISHとESHが共同開催であったこともあり、非常に多くの参加者が参集し、ポスター会場などは、ほとんど立錫の余地がない状態であった。計画と参加者数に若干の乖離があったのかもしれない。動脈スティッフネスや様々な脈波計測の方法論に関して、多くの医療機器メーカーの展示があり、この分野の産業規

模の大きさがうかがえる。日本からもフクダ電子などのブースもあり、ここではロシアのスモレンスクステートメディカルアカデミーの全面協力での定量診断計測の実演と最新の国際データ紹介なども行われ、参加者の人気を集めていた(図1)。



図1 ESH2008におけるCAVIの展示と計測実演

- *¹ 東北大学加齢医学研究所病態計測制御研究分野
(同大学院医工学研究科人工臓器医工学, 同大学院医学系研究科病態計測制御学)
- *² 東北厚生年金病院循環器センター
- *³ 宮城循環器呼吸器病センター
- *⁴ 東北大学サイバーサイエンスセンター
- *⁵ 東北大学流体科学研究所
- *⁶ 東北大学大学院医学系研究科内部障害学
- *⁷ 東北労災病院勤労者予防医療センター
- *⁸ 吉林大学公衆衛生院
- *⁹ Department of Therapy, Smolensk State Medical Academy
- *¹⁰ Masaryk University School of Medicine
- *¹¹ Department of Physiotherapy & Rehabilitation, Masaryk University School of Medicine
- *¹² St. Anna University Hospital, Masaryk University

学術集会では、高血圧という疾患の特殊性からか、やはり薬剤関連の研究が多く、日本よりのARBに関するメガスタディのポスターなどは、薬屋さん関連の取材なども集まり、観衆も集まる方向性にあったようである(図2)。

高血圧と脈波に関しても様々な研究が報告されており、ポスターセッションでも興味深いアプローチがいくつか報告されており、脈波計測やAugmentation Index (AI), Pulse Wave Velocity (PWV), Cardio Ankle Vascular Index (CAVI)などに関する研究テーマは、世界的に見ても増加傾向にあるように見受けられる⁽¹⁻⁴⁾。

例えば、ブリュッセルのエラスムス病院などからは、喫煙とPWV, AIなどに関する報告があり、喫煙者では、喫煙直後から心拍・血圧・PWV, AIすべて増加傾向にあるとの結果が示され注目されていた。このように、明日の高血圧外来診療におけるモンテラにも、すぐに役立つような興味深い情報も散見された。



図2 ベルリン国際会議センター

臨床家が学術集会に参加する意義は、このような知識の取得にあるようにも思えた。

欧州における動脈硬化計測標準化のためのアプローチ

チェコ共和国は、現在のEUの、ど真ん中に位置し、古くは神聖ローマ帝国の首都がおかれて西欧全体の中心的存在であった国家であった(図3)。位置的に西欧・中欧・東欧へのアクセスも容易であるだけに、歴史的には、様々な民族の侵略も受けた苦難の戦史を持つ。欧州に覇を唱えたハプスブルク帝国においては、チェコは帝国全体の2/3の重工業生産を維持する工業の中心であった。工業国の伝統は、現代でも重機銃などの生産拠点として残されている。ベルリンの壁崩壊とともにビロード革命で平和的に資本主義へ移行した現在、工業国家として自動車生産なども盛んになり、街を走る車のほとんどは自国製品に占められるようになっている。

戦争史的に苦難の歴史を保持するだけに、言葉は悪いかもしれないが、いろいろな歴史的経緯により、たいへん混血が進んでいる。主体はスラブ民族とされており、伝説によれば、チェコとレコトルスのスラブの3兄



図3 チェコ共和国の位置